

# たより『美紗の会』ニユース

第九号

平成五年十月十五日

発行者  
「美紗の会」事務局  
☎ 03-3441-2726

## 日独文化交流に一役

### 感銘えた市民に与えられた

九月六日、関崎ひで女率いる  
関崎流地唄舞へ  
ルリンフェスティバル参加の一  
行十一人はベルリン空港に到着。  
一行は休む暇もなく翌七日に  
三弦を受け持つ重要な演者。  
西松師は唄と

はオペラ劇場で  
共同記者会見。

### ドイツ公演を終えて 橋場はつえ

はじめ訪れたドイツ、ベルリンはすでに秋の気配であった。落ちついた舞駄のない木々の葉が秋の訪れを告げていた。

今回の公演は計五回という

強行スケジュールだったので

終始緊張感のぬけない旅であつたけれど七年ぶりのヨーロッパ、それも「日本とヨーロッパ展」と大がかりなフェスティバルに参加出来たという

感銘深いドイツ公演旅行の幕

大盛況で、ケルンのダンス学

はベルリンの古いオペラ劇場

でも二回とも売り切れという

感銘深いドイツ公演旅行の幕

を閉じた。

二本のろうそくの静かな炎を  
揺らし、私の唄も微妙に観衆  
の中とけて行つた。ブラボーの歓声と共に始まつた公演

は、

大きなエネルギーを確実に感じた今回の旅であった。

報道陣に地唄舞と日本文化について話。熱心な質疑に応じる。そして同じ日には早くも公演の晴れ舞台となるシュロス劇場でリハーサル。

次大戦後ボツダム協定が結ばれたその場所で、一般に公開されるのは初めてだそうだ。

八日午後八時いよいよ開演。

『こすの戸』『菊の露』『残

月』『ゆき』と一緒に半の舞

台だったが、満員の観客から

は絶賛の拍手が鳴り止まなか

った。夜はブランデンブルグ

州知事王催の歓迎パーティー。

ドイツ風の温かい歓迎の宴に一同感激。

九日、アポロザールのオペ

ラ劇場でリハーサル。夜は上

ツゲル湖畔で木村駐独大使の

激励夕食会。

十日午後八時開演。オペラ

劇場での公演切符は早くから

売り切れ、日本から出掛け

校の特設舞台でも若い観衆の

拍手がいつまでも鳴り止まず、

新聞やテレビでも大きく取り

あげられた。

東西統一により破壊された

ベルリンの壁はあとかたもなく

喜びが実感となつて、今でも

熱狂的な拍手の歓響が耳元で

うずまいているのを感じることができる。

日本とヨーロッパ一五四三

一九一九年展の開催宣言。

日本からは大岡信なども参加。

ベルリンの壁は「子のひ」を

舞つ。一行はこの日ベルリンに別れを告げケルンへ。

十三日、ケルンのタンツ

ロジエクツ・ダンス学院の特

設舞台で公演。悪天候にも拘らず一五〇人を越える観衆を

見るさまざまな問題を内包し

ているという。

その他の、今後年内に予定さ

れている公演には次のような

ものがある。

会員の支援が期待される。

\* 十一日九日、赤羽「北

とぴあ」において「関崎ひさ

女・舞の会」に出演。

「茶首頭」と「ゆき」で地

演劇会。ドイツ・アメリカの

公演に会主と同行し、絶賛を

博した尺八の宮崎青畠。また

琴の西松孝子が賛助出演。邦

樂愛好家には選せない絶好の

機会となる。予定日は

『残月』『今朝の雨』ほか。

どうして小唄など唄うようになつてしまつたのかと、私はとき時思つことがあります。

楽しみで小唄を唄うということが、まず小唄という麻薬に触れた始まりで、面白くて仕方がない時期を過ぎると、今度は苦しくなつてきます。

唄つてくれとは言われても、ただニヤニヤ笑つて唄いません。小唄はむつかしい。いつになつても難かしい。皆さんのが会が迫つてきました頃、お得意のアレを出してくださいと言われても、一年

も三年も唄わない時がありま

す。これははどう唄つたら良いのだろう。歌詞を読んで、テープを聞いて、師匠の前で稽古して、それでもまだ出ない。

も仕方がありません。

唄うという字は「へん」に貝と書きます。字を作つた人は

國學院大学院友会顧問 高藤昇

皮肉です。なるべく貝のよう口を開いて唄わない方が、身のためにすと教えているのかも知れません。楽しいふりをして苦しんで唄う。それで唄の神様に許してもらつことにいたりましょう。

### イヴのりんごと小唄

國學院大学院友会顧問 高藤昇

皮肉です。なるべく貝のよう口を開いて唄わない方が、身のためにすと教えているのかも知れません。楽しいふりをして苦しんで唄う。それで唄の神様に許してもらつことにいたりましょう。

貝のよう口を開いて唄わない方が、身のためにすと教えているのかも知れません。楽しいふりをして苦しんで唄う。それで唄の神様に許してもらつことにいたりましょう。

貝のよう口を開いて唄わない方が、身のためにすと教えているのかも知れません。楽しいふりをして苦しんで唄う。それで唄の神様に許してもらつことにいたりましょう。

貝のよう口を開いて唄わない方が、身のためにすと教えているのかも知れません。楽しいふりをして苦しんで唄う。それで唄の神様に許してもらつことにいたりましょう。

貝のよう口を開いて唄わない方が、身のためにすと教えているのかも知れません。楽しいふりをして苦しんで唄う。それで唄の神様に許してもらつことにいたりましょう。

貝のよう口を開いて唄わない方が、身のためにすと教えているのかも知れません。楽しいふりをして苦しんで唄う。それで唄の神様に許してもらつことにいたりましょう。

## 『美紗の会』会員訪問（三）

白金教室

# 大久保朋子さん

## 三輪田学園の同窓生

ふくよかな着物姿の彼女が、前屈み気味に取り出してくれる名刺を見て、誰もが驚く。

「一级建築士・大久保朋子」

女性で一级建築士というのは珍しいですね。一级を取るのは非常に難しいんであります。専門の学校でも出たのですか？

「いいえ、私は武藏野美術短大のデザイン科卒業ですかね、デザインの方でしょ。建築は独学なんです」

読み聞かれて、彼女の言葉はさらりと流れる。ここにこと。気負つたところが少しもない。

暫く大手の設計事務所で集合住宅の設計などしていたが、住宅は住む人に合った個性を持つべきだ、との考え方からやがてこれを辞めて独立する。

製図台に向かい強度計算をするスパークーラーと三昧線とはすぐには結び付かない。一どうして三昧線を始めたのですか？

「高校二年時の時、父の影響で半年くらいお稽古をしたことがあります。それからずっと忙しくて続ける」

橋場師匠とは中学高校の六年間、同じ三輪田学園で学んだ。この三輪田の同期生には後に美紗の会のマネージャーになる加藤さん、それに御馴染みの西川雅恵師。また地唄舞の関崎純女など師匠を支える仲間がいる。しかし在学中はお互いに良くなかった。

「橋場さんはワンダーホール部に入っていたので、そこに共通の友達がいるという程度だったんです。卒業後も友人から彼女が邦楽で活躍していることを聞き、かねがねやりたいと思っていた小唄を習うことになったんです」

赤坂組の仲間にとつて大久保さんは大切な三昧線の合方だ。お稽古では各人がそれを大久保さんの糸で唄う。けれども本人には小唄の方が命だという。

「私は小唄の世界、そういう背景というか、雰囲気が好きなんです。読むのも時代小説が好きだし、だから小唄をやりたかったの。けれど三

昧線なしでは唄うのが難しいでしょ。かといって唄うたびに誰かにお願いしなければならないんだつたら限界があるし。そこでいつそ三昧線も自分でやつちやおうということになつたんです」

そのファイトと才能に聞く方は驚くばかり。話し手は終始にこに。

練習は稽古日の前に三十分位ずつ、「三回やればいい方。でもおさらい会が近付くと不安になり詰めてやる。

「人前で弾くのだと思うと一生懸命稽古するんです。私なんかおさらい会がなかつたら上達しないわね」

好きな曲は「山中しぐれ」

お酒は嫌いではないがそう飲む方ではない。せいぜい二合程度。いちど五合飲んで翌日残り懶りたと言つ。

（注）大久保さんは東京ガスグループの『リビングモア』という会社でも仕事をしています。

（東京都出身）

ですもの、それ位の贅沢は許してよ」と言われた。

小唄以外の趣味はアマチュア。気が向くとマイペースで楽しんでいる。

お酒は嫌いではないがそう飲む方ではない。せいぜい二

合程度。いちど五合飲んで翌日残り懶りたと言つ。

（注）大久保さんは東京ガスグループの『リビングモア』という会社でも仕事をしています。

（東京都出身）

ですもの、それ位の贅沢は許してよ」と言われた。

小唄以外の趣味はアマチュア。気が向くとマイペースで楽しんでいる。